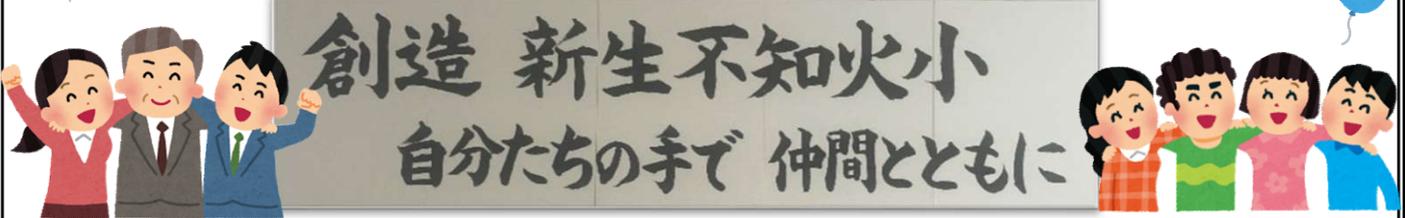




# かけはし



文責：小倉



集団とチームの違いは何か。ある人は、「共通の目標や目的を持っているか否かだ」と言いました。集団では10人いれば10人分の成果しか上げられないところが、チームは目標達成のため協力する事で10人で10人+αの成果が期待できる点だそうです。私たち「チーム不知火」も、教育活動の指針となる「学校目標」を設定しています。チーム不知火の目標は、

## 創造 新生 不知火小

～ 自分たちの手で 仲間とともに ～ です。

この目標には、新しい不知火小学校の伝統を、今在籍する教職員と子供たち、保護者の皆さんと地域の方々と共に、創り上げていこうという決意を表したものです。そして、その歴史を積み上げるプロセスにおいて、特に子供たちの「主体性」と「協働性」を育むことを大切にしていきたいと考えています。

学校では、子供たちが「自分たちの手で！」という思いを持ちながら創意工夫を重ねて粘り強く取り組めるような、動機付け、仕掛け、支援を行っていきます。また、「一人でもできるが、「仲間とともに」協力すれば、もっとできる」という経験を積み重ねることで、仲間とつながる力を育んでいきます。

右図は、学校目標や重点努力事項を総合的に表した「令和6年度不知火小学校グランドデザイン」です。学校ホームページに掲載していますので、拡大版はホームページをご覧ください。



## 図書券をいただきました! ~アグリパーク豊野~



「希望のざる」

アグリパーク豊野では、農家の方の協力により「希望のざる」として、規格外の野菜の販売を行い、その収益を様々な福祉・教育事業に寄付をされています。3年前から「子供たちの読書活動の充実に役立ててほしい。」と、豊野小学校と不知火小学校に図書券を寄贈いただいています。今年度も、図書券5万円を寄贈いただきました。

不知火小学校では、図書室に「アグリ文庫」を設置して、図書委員会の子供たちを中心にして素敵な本を選書して全校児童に提供しています。

アグリパーク豊野の皆さんやこの事業に協力いただいた農家の方、また趣旨に賛同して野菜を買っていただいた方々に感謝しながら、さらに読書活動を充実させていこうと思います。



アグリ文庫